

北海道別海高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和5年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) 授業や行事等のねらい、目標の見直しをおこない、目標達成に向けて自ら考え行動できる態度を育成する。 (2) 地域のニーズに合った生徒の育成し、地域で活躍できる人材を育成する。	A  A	(1) 記録簿の改善、確実な事前事後指導をとおして、常に考え学び続ける姿勢を育成できるように工夫する。 (2) 学校運営協議会や関連機関との連携や繋がりをつくり、地域で求められているニーズを把握し、それに合った教育課程の作成や外部講師を活用した授業を実施する。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1) 海外視察研修をとおして、国際的な視野を醸成し、海外の農業と国内農業の違いを理解させるとともに、それを生かした酪農経営を推進できる学習を実施する。	A	(1) カナダへの海外視察研修についての事前指導と事後指導を丁寧におこない、帰国後の報告会を実施するとともに、報告書の作成を実施する。
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 飼料高騰を受け、新たな飼料調製技術の開発に取り組む。 (2) 地域農業や地域特性についての学習をとおして、地域活性化に必要な事柄を探究し、関係機関等との連携を図り、実施していく。	B  B	(1) 子実用トウモロコシの調製方法についてのプロジェクトや、消化液の有効活用方法検討についてのプロジェクト活動を実施する。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) プロジェクト学習の取組を工夫・充実させ、地域農業の課題解決に向けた学習に取り組む。 (2) 保幼小中学校との連携事業を行い、食農教育の充実を図るとともに、将来の地域産業を担う人材を育成する。	A  B	(1) 研究活動により、飼料自給率向上に関する研究、地域の生乳を活用した加工品の製造に関するプロジェクト学習を実施する。 (2) 出前授業の実施や圃場を活用した作物等の栽培を実施する。
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) 3年間をとおして植樹事業を実施し、国土保全や環境創造に関する態度を造成する。 (2) プロジェクト学習をとおして、地域の環境に関する課題解決に向けた教育を推進する。	B  A	(1) 北海道開発局と連携し、全学年で苗木の播種から鉢上げ、植樹活動を一貫して実施する。 (2) 大型のバイオガスプラントから出る消化液の活用方法や循環型農業に関わるプロジェクト学習を実施する。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) 地域資源を活用した授業や実習を展開させ、地域交流を図り、将来地域産業を担う人材の育成を図る。	B	(1) 別海町グリーンツーリズムネットワークとの活動をとおして、フットパスのガイド養成や整備、歴史学習会に取り組む。 (2) 農業協同組合、改良普及センターとの連携を充実させ、外部専門家を活用した授業や実習を実施し、専門的で高度な知識・技術の習得を図る。
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1) Society5.0とSDGsとの関係やスマート農業について理解を深め、地域農業を担う人材の育成を図る。	A	(1) 地域の農業機械店等との連携をつくり、デモ機を活用した授業や実習、外部講師を活用した出前授業などを実施する。
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 地域の自然災害や安全に関する教育を推進する。	A	(1) 1日防災学校や、農業と災害を絡めた授業を展開し、生徒の意識を高めるための教育を実施する。